

全校集会 学校長の話（2026年7月7日）

- 昨日は天候不良により、2年生の水泳大会は延期になりました。きょうは1年生の水泳大会ですね。水泳といえど、熱中症には十分に気を付けて、水分をこまめに取って、無理のない範囲でがんばってくださいね。
- さて、きょうは7月7日、七夕です。織姫と彦星が、一年に一度だけ天の川を渡って会える日。皆さんも小さいころ、短冊に願いごとを書いた記憶があると思います。
- この織姫と彦星、夜空に実在する星です。織姫は「ベガ」、彦星は「アルタイル」という星で、はくちょう座のデネブと合わせて「夏の大三角」をつくっています。理科の天体で、3年生はこの先習います。
地球から織姫までの距離は約25光年。彦星までは約17光年。そして、織姫と彦星の間の距離は、約14光年です。光年というのは、光が1年かけて進む距離のこと。光は1秒間に地球を7周半するスピードです。その光の速さで飛んでも、織姫が彦星に会いに行くには14年以上かかる。つまりこの二人、「一年に一度会う」どころか、宇宙一のスピードを使っても、一度会うのに14年かかる、超・遠距離恋愛なんです。
- もうひとつ。今夜、もし晴れて織姫の星が見えたら、思い出してほしいことがあります。皆さんがそのとき見ている光は、25年前に織姫を出発した光です。つまり、皆さんがまだ生まれていないころに出発した光が、25年かけて宇宙を旅して、今夜ようやく皆さんの目に届く。そう考えると、夜空を見上げるのがちょっと面白くなりませんか。
- で、僕がきょう一番言いたいのはここからです。
織姫と彦星は、どれだけ会いたくても、14年かかっても会えない。ところが皆さんはどうでしょう。教室に行けば、隣の席に仲間がいる。廊下ですれ違えば「おはよう」と言える。毎日、顔を見て、声を聞いて、笑い合える。これ、実はものすごく貴重なことなんです。毎日会えるのが当たり前すぎて、つい雑に扱ってしまう。きつい言葉を投げたり、LINEで悪口を書いたり。でも、14光年のかなたから見たら、隣に人がいるということ自体が、奇跡みたいな距離の近さです。
- また、部活動では、今ちょうど夏の大会が真っ盛りです。この広い宇宙の中に地球という星があって、その地球の中の日本、大阪、そして北稜中学校で、同じ時代に、同じ仲間と、同じスポーツに打ち込んでいる。そう考えると、今みなさんが一緒に汗を流し、声をかけ合い、試合に向かっていることは、当たり前のようで、実は本当に奇跡のようなことです。
- 1学期も残りわずか。夏休みに入れば、クラスの仲間としばらく会えなくなります。だからこそ、残りの日々、自分を大切に、そして隣にいる人を大切にして過ごしてください。